

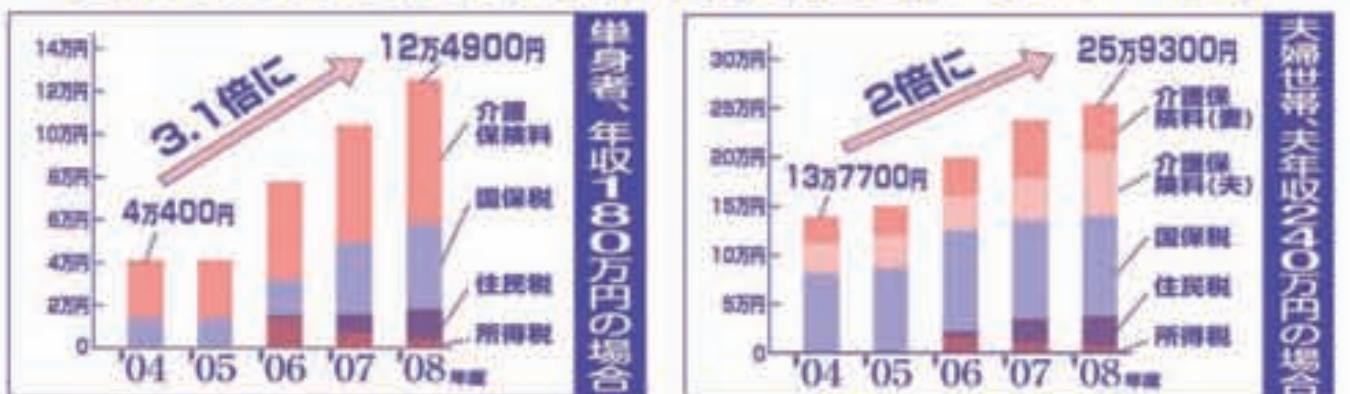


おげんきですか
日本共产党
市議会議員
かのひろ子です

自宅 〒193-0944 鎌ヶ谷町 1097 鎌ヶ谷団地 2-11-712
TEL 665-9155 FAX 665-9158

発行 日本共产党八王子市議団
連絡先 八王子市元本郷町 3-24-1
TEL 620-7317 FAX 626-3398
党事務所 TEL 642-6344 FAX 646-8055
ホームページ <http://www.cpi-media.jp/hachioji>

雪だるま式の高齢者負担増 ('04~'08)



八王子駅
南口再開発

それなのに

公費投入172億円も 負担の軽減こそ自治体のしごと

市民のくらしに増税と負担増を押しつける一方で、八王子駅南口再開発事業には、国・都・市あわせて今後172億円もの公費がつぎ込まれる計画であることが明らかになりました(06年度は6億3千万円)。再開発ビル(ミニ市役所含む)・駅前整備・ペデストリアンデッキなど総事業費は350億円とされ、およそ半分が税金でまかなわれる計算です。



八王子駅南口再開発ビル
完成予想図(市広報より)

投入額はたいしたことはない」と言つきましたが、とんでもありません。「ミニ市役所」を再開発ビル内に設置する計画についても、市の当初案

市は、こうした負担増に対し、「国において激変緩和措置がとられている」というだけで、独自の軽減策は何も行なうとしていません。日本共産党は、この雪だるま式負担増から高齢者のくらしを守る方策を求めました。

日本共産党は、要介護者が障害者手帳をもたなくとも税金の控除が受けられることで、再開発準備組合から「もつと広い面積に」と言われてワンフロア分を市が取得する方向になつたことが明らかになり、事業推進のために公費の投入が無原則に大きくなっているのではないかと追及しました。

自民、公明、市民・民主クラブの議員らは「市民会館の座席数を増やせ」「道路もグレードアップを」

に対し、再開発準備組合から「もつと広い面積に」と言われてワンフロア分を市が取得する方向になつたことが明らかになり、事業推進のために公費の投入が無原則に大きくなっているのではないかと追及しました。

日本共産党は、要介護者が障害者手帳をもたなくとも税金の控除が受けられることで、再開発準備組合から「もつと広い面積に」と言われてワンフロア分を市が取得する方向になつたことが明らかになり、事業推進のために公費の投入が無原則に大きくなっているのではないかと追及しました。

庶民大増税が高齢者を直撃



案の特徴と問題点、日本共産党市議団の主な質疑や意見書・請願の結果など、あらましをお知らせします。

2月28日から3月29日まで第1回定例市議会が行なわれ、2006年度予算案などが審議されました。予算

今度の議会では、4月から新しく変わる介護保険と高齢者福祉について質疑を行いました(右の写真)。3月9日、テレビ画面から)。

介護保険改定前、老人保健事業の総合健康相談などの事業費は、国・都、市が3分の1ずつ負担。配食サービスなどは国が50%、都と市が25%ずつ負担していました。これまで公費で行なってきた事業を介護保険に組み入れることで財源構成が大きく変わります。配食サービスなどは「介護予防事業」とされ、国は25%、都と市が12.5%と負担が減り、新たに保険料負担が増えることになります。

65歳以上の高齢者の1号保険料が19%、40歳以上の2号保険料が31%と、財源の半分を保険料でまかなくなうことになります。

私は、05年度予算審議の際、「公費でまかなっていた福祉事業を、介護保険に組み込むとの分が保険料には返り、高齢者の負担増になってしまう」と指摘しました。06年度の介護保険料は25%値上げで、総額11億円も負担が増えます。市長は「高齢者施策は一般財源から介護保険へ財源の変更があった」と答

を切らさない高齢者へ安心して長生きできるように市がみなさんをまもります」というのが、自治体の役目ではないでしょうか。

(テレビ画面から)

**市議会議員
かのひろ子**
自宅: 鎌ヶ谷町 1097
鎌ヶ谷団地 2-11-712
TEL 665-9155 FAX 665-9158
事務所: TEL 642-6344 FAX 646-8055

今年度の予算は、小泉内閣による高齢者の負担増の押しつけに対して、市独自の施策を切らさないであります。これまで苦労して働き、社会を支えてきた高齢者に「これまでありがとうございます」と安心して長生きできるように市がみなさんをまもります」というのが、自治体の役目ではないでしょうか。

米軍基地の再編強化は許せません
「全国基地闘争交流集会」(2月24・25日、沖縄)に参加しました。相次ぎました。私は、八王子で起きた米軍基地をかかえながら、自治体ぐるみで米軍基地の再編強化真)。

闘争交流集会
開催地: 沖縄県那覇市
開催期間: 2月24・25日
主催: 沖縄県民連合
参加者: 約1万人
内容: 米軍基地による児童ひき逃げ事件について発言しました(下の写

JR北八王子駅前段差解消



段差解消した歩道

JR北八王子駅ロータリーの横断歩道にあった段差のために車椅子やベビーカーの人は、段差のない別のところから一度車道に出てガードレールを回ってから、この横断歩道を渡っていました。

危険性を市に訴え、補修を要請すると早速段差を解消する工事がおこなわれました。

「これで安心して通れる」と喜びの声がせられました。

あなたの身近な相談相手
どんなことでもかまいません。
お気軽にご相談ください。
無料法律相談も行っています。

